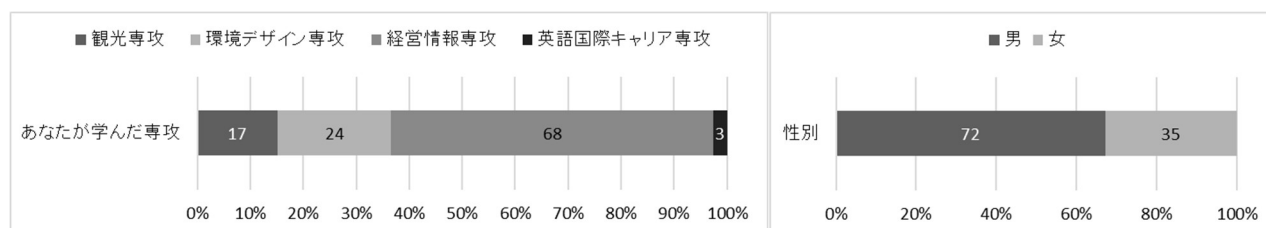


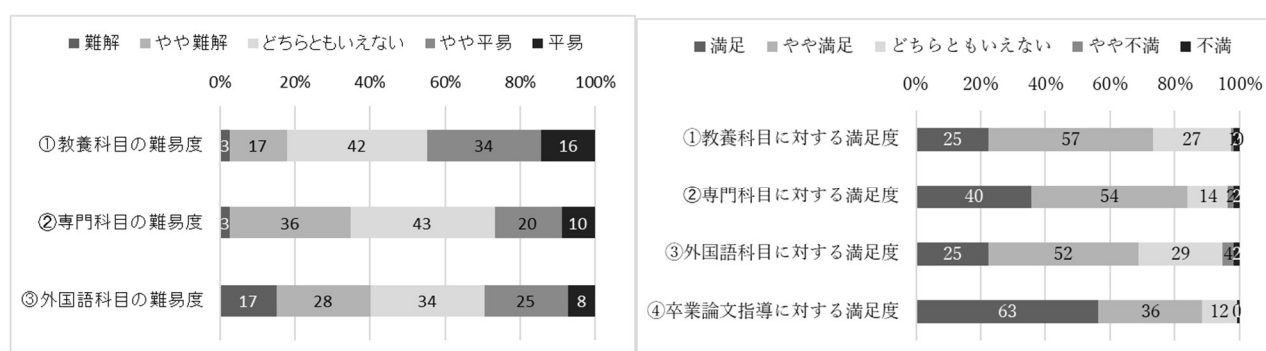
令和 7(2025)年度 富山国際大学 現代社会学部 卒業時アンケート

アンケート実施日：各専攻卒論発表時

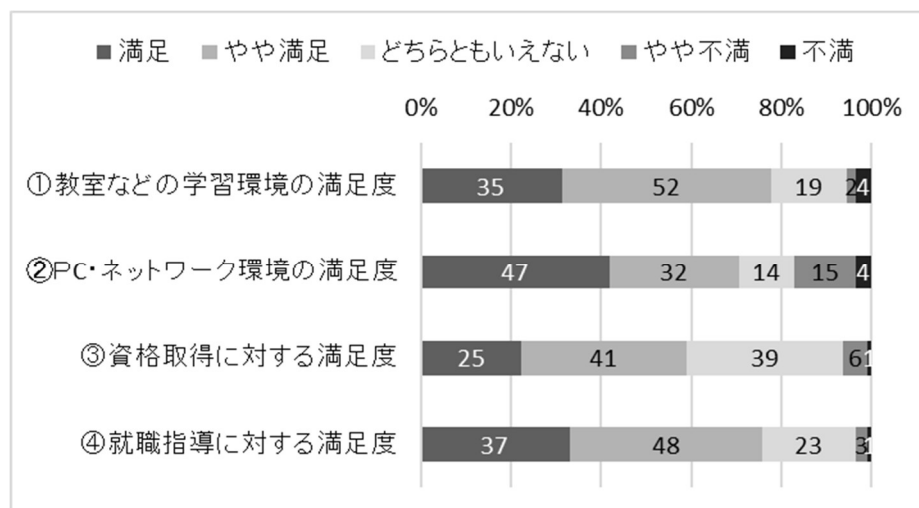
回収：102／119 人（85.7%）



1. 授業科目全般に関する平均的評価

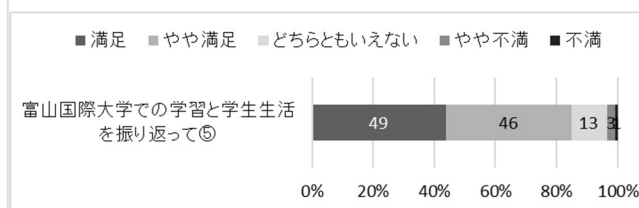
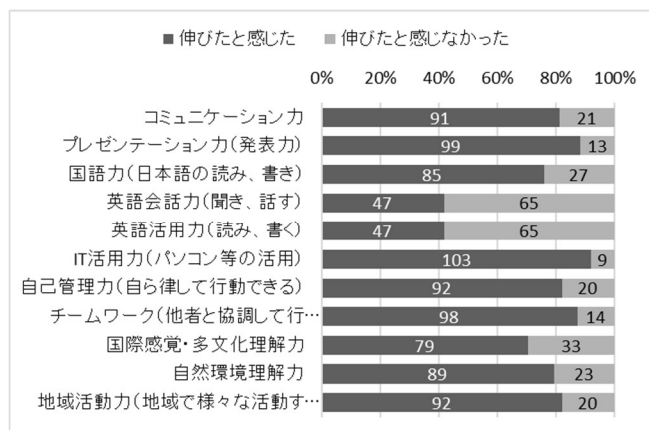
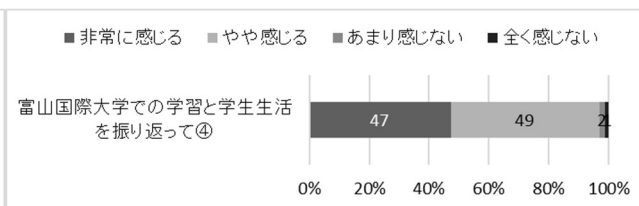
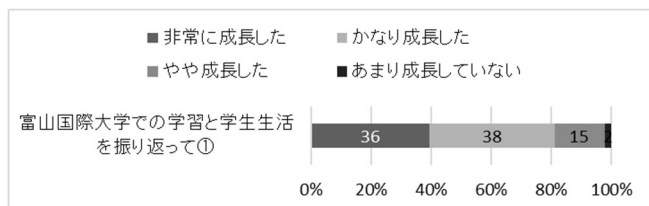


2. 学習環境・就職支援について



3. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って

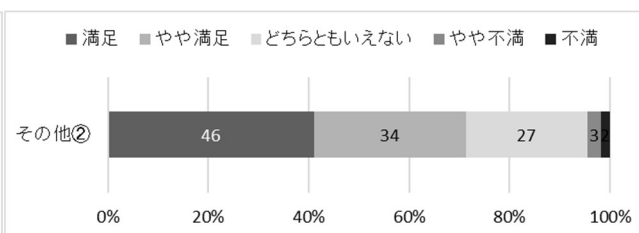
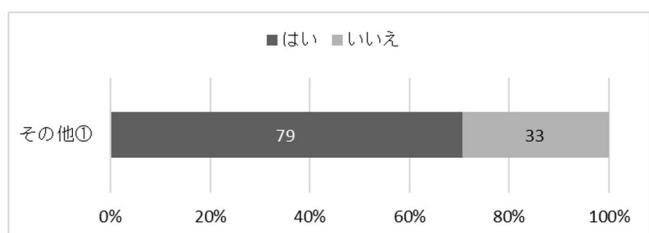
- ① 入学から卒業までの間で自分は成長したと感じますか
- ④ 大学で学んだことが社会に出て役立つと感じていますか。
- ⑤ 大学での生活全体を振り返って、満足していますか



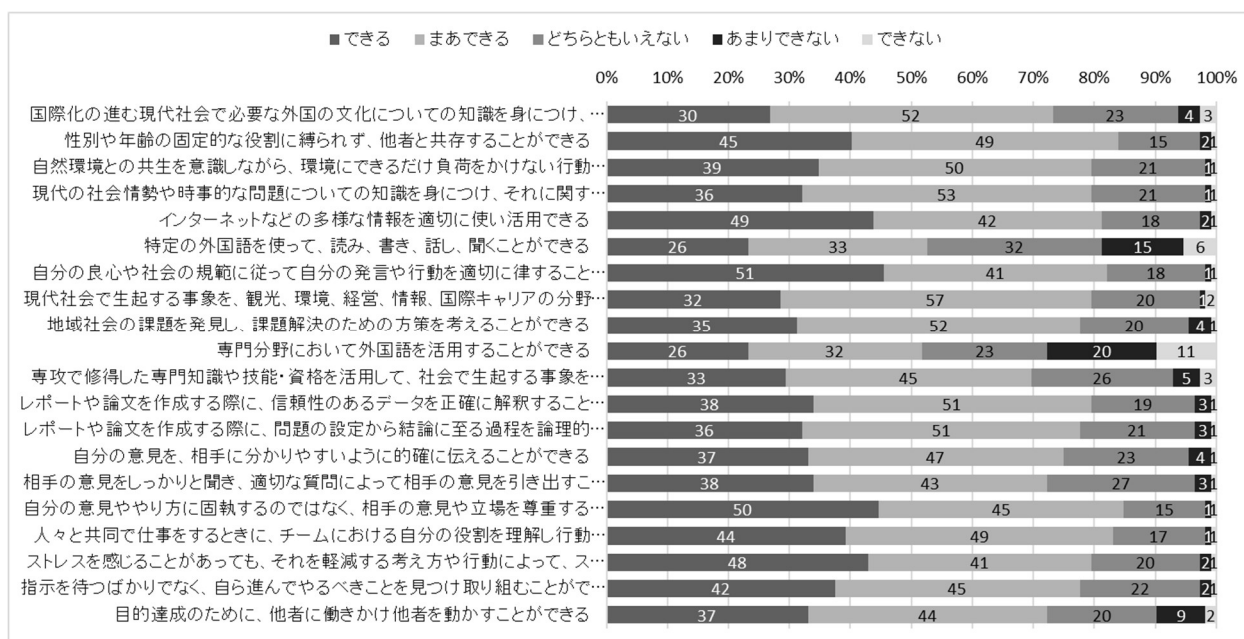
4. その他

① あなたは後輩や親戚にこの大学で学ぶことを薦めたいですか

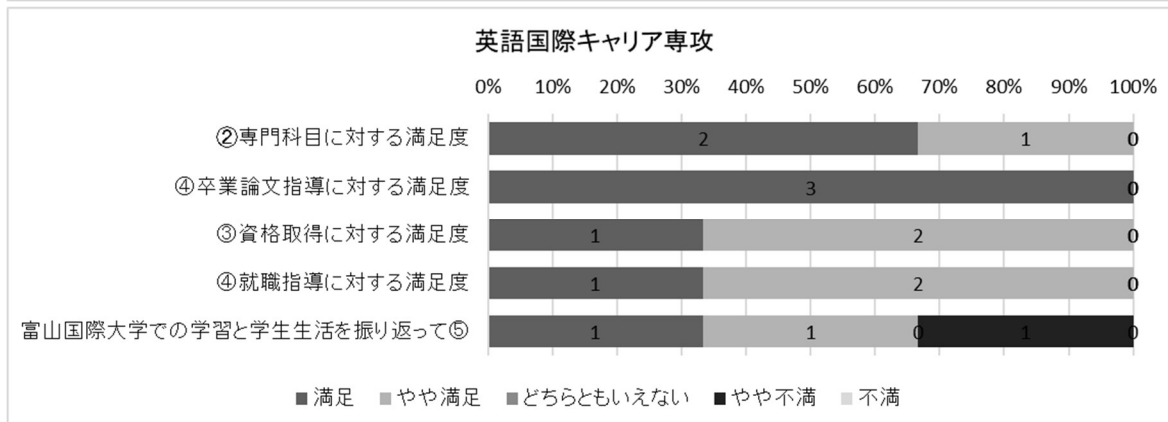
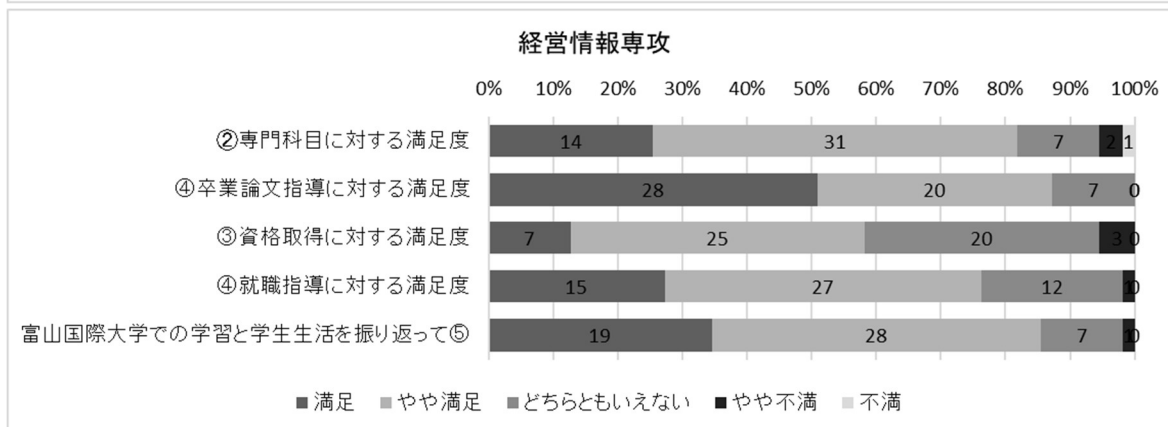
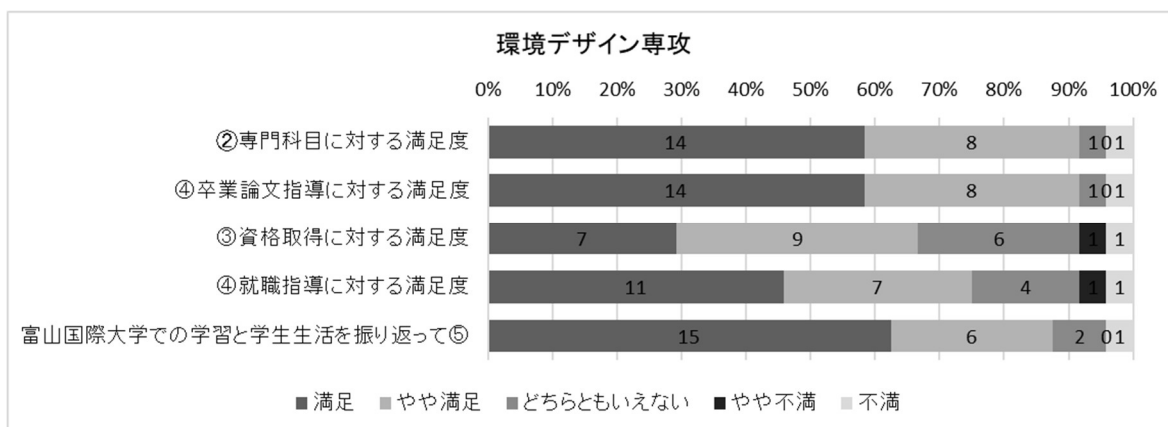
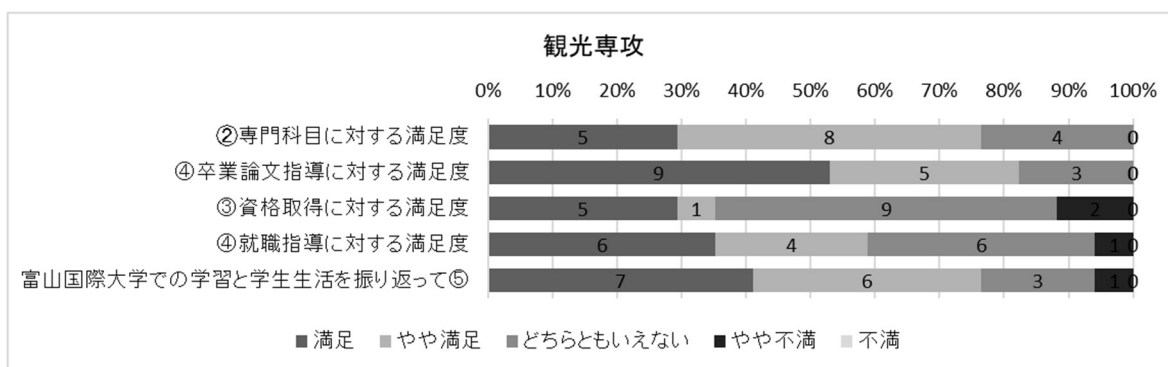
② ICカード付学生証証を使用してどうでしたか



5. ディプロマポリシー達成度

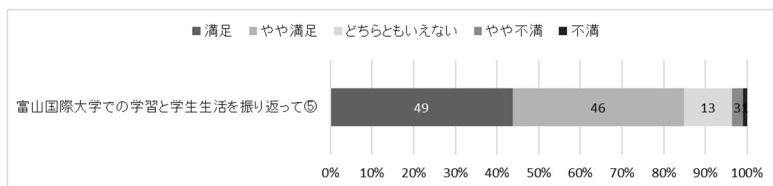


クロス集計

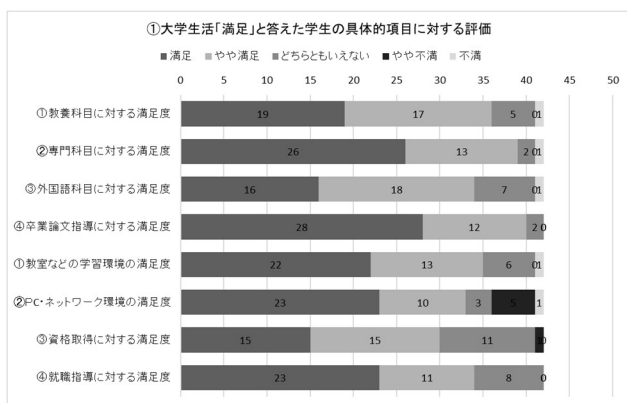


クロス集計② 大学生活満足度と関係する項目

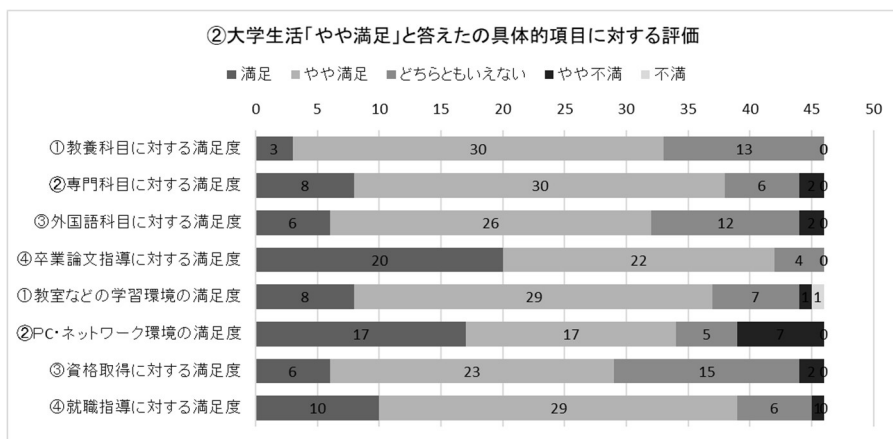
⑤大学での生活全体を振り返って、満足していますか



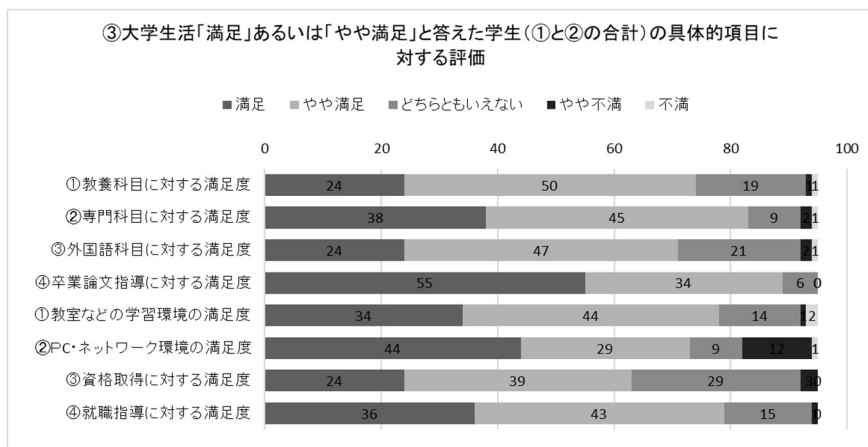
大学での生活全体を“満足”と回答した 49 名のその他の満足度に対する評価



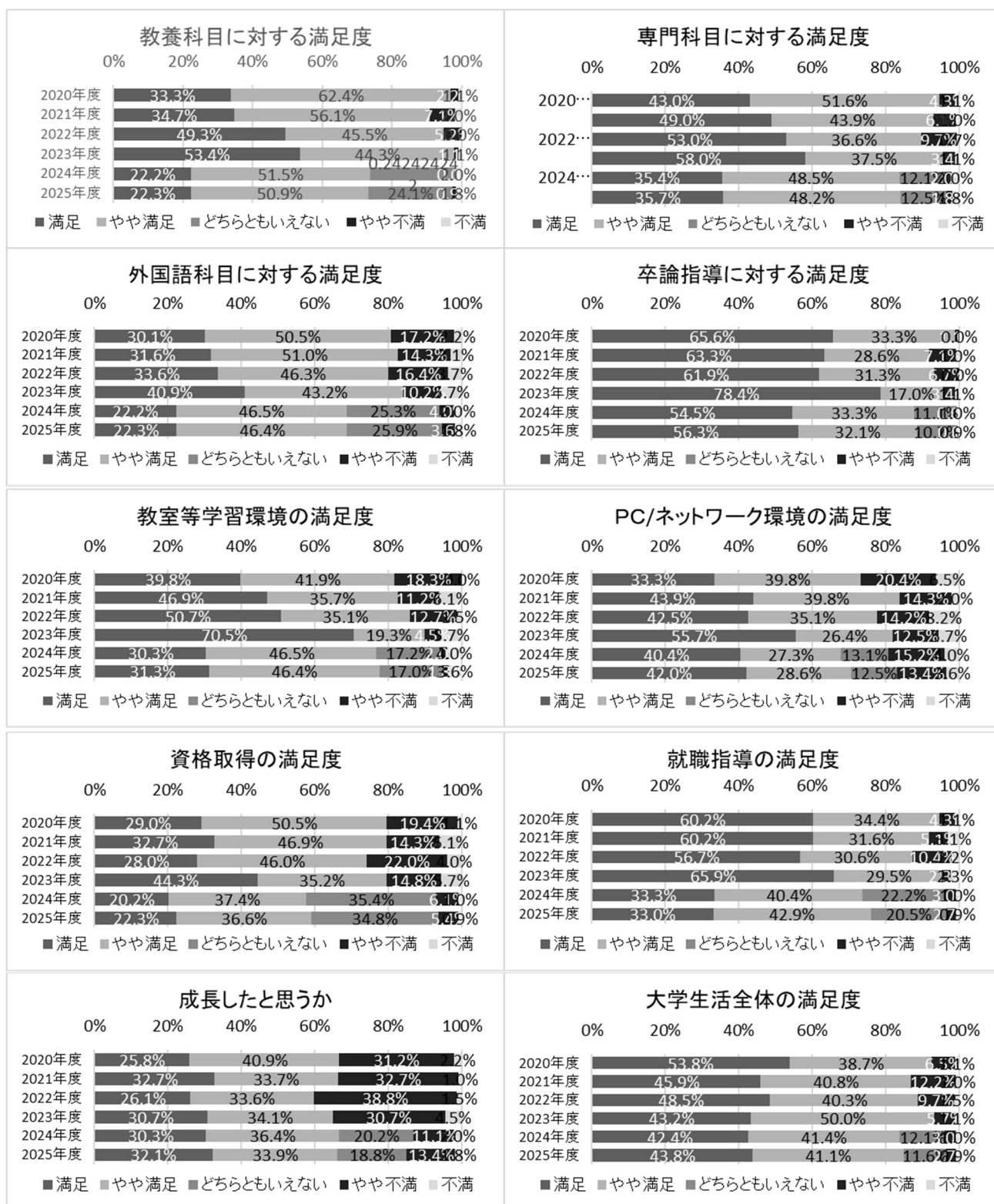
大学での生活全体を“やや満足”と回答した 46 名のその他の満足度に対する評価



大学での生活全体を“満足”、“やや満足”と回答した 105 名のその他の満足度に対する評価



年度比較



コメント：2023年度と2024年度の間で“どちらともいえない”の選択肢が増えたため、経年変化を評価することは難しいが、前年度との比較ではおおむね同様の満足度を示している。

令和7(2025)年度 卒業時アンケート（現代社会学部）

目的：卒業時に本学での学生生活を振り返ってもらい、本学の教育活動に対する満足度や在学中の学びを通じた知識・能力の修得状況、また本学に期待・要望することなど幅広い意見を徴収し、その結果を教育の改善や質向上に向けた学内での議論に活用していくための基礎資料とする。

回答方法：Microsoft にログインし、各設問に対して該当する番号を選択、記述式に関しては記入欄に回答。

実施期間：卒業論文発表会終了後（2月上旬頃）に実施

1. 性別： 男性 女性 未回答

2. 専攻： 観光専攻 環境デザイン専攻 経営情報専攻 英語国際キャリア専攻

3. 授業科目全般に関する平均的評価(1)（科目の難易度）

①教養科目の難易度	難解	やや難解	どちらでもない	やや平易	平易
②専門科目の難易度	難解	やや難解	どちらでもない	やや平易	平易
③外国語科目の難易度	難解	やや難解	どちらでもない	やや平易	平易

4. 授業科目全般に関する平均的評価(2)（科目に対する満足度）

①教養科目に対する満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
②専門科目に対する満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
③外国語科目に対する満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
④卒業論文指導に対する満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満

5. 学習環境・就職支援について

①教室などの学習環境の満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
②PC・ネットワーク環境の満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
③資格取得に対する満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
④就職指導に対する満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満

6. 学習環境・就職支援について（記述式①）

環境・設備面で気に入っているところを記入してください。

7. 学習環境・就職支援について（記述式②）

環境・設備面で気に入らないところを記入してください。

8. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って①

入学から卒業までの間で自分は成長したと感じますか

非常に成長した かなり成長した どちらともいえない やや成長した あまり成長していない

9. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って②

下記のどのような力が伸びたと感じていますか。伸びたと感じたもの、伸びたと感じなかったものにチェックしてください。

・コミュニケーション力	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・プレゼンテーション力（発表力）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・国語力（日本語の読み、書き）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・英語会話力（聞く、話す）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・英語活用力（読み、書く）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・IT 活用力（パソコン等の活用）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・自己管理能力（自ら律して行動できる）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・チームワーク（他者と協調して行動できる）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・国際感覚・多文化理解力	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・自然環境理解力	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった
・地域活動力（地域で様々な活動をする）	伸びたと感じた	伸びたと感じなかった

10. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って③

その他、自分が伸びたと感じている点を書いてください。

11. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って④

大学で学んだことが社会に出て役立つと感じていますか。

非常に感じる やや感じる どちらともいえない あまり感じない 全く感じない

12. 富山国際大学での学習と学生生活を振り返って⑤

大学での生活全体を振り返って、満足していますか

満足 やや満足 どちらともいえない やや不満 不満

13. その他①

あなたは後輩や親戚にこの大学で学ぶことを薦めたいですか はい いいえ

14. その他②

I Cカード付学生証を使用してどうでしたか

満足 やや満足 どちらともいえない やや不満 不満

15. その他③

この大学に今後期待すること

16. ディプロマポリシー達成評価のためにお聞きます①

A 人間性の向上

(回答の選択：できる、まあできる、どちらともいえない、あまりできない、できない)

- ・国際化の進む現代社会で必要な外国の文化についての知識を身につけ、他国の人と共存することができる
- ・性別や年齢の固定的な役割に縛られず、他者と共存することができる
- ・自然環境との共生を意識しながら、環境にできるだけ負荷をかけない行動をとることができる
- ・現代の社会情勢や時事的な問題についての知識を身につけ、それに関する自分の考えを述べることができる
- ・インターネットなどの多様な情報を適切に使い活用できる
- ・特定の外国語を使って、読み、書き、話し、聞くことができる
- ・自分の良心や社会の規範に従って自分の発言や行動を適切に律することができる

17. ディプロマポリシー達成評価のためにお聞きます②

B 専門性の向上

(回答の選択：できる、まあできる、どちらともいえない、あまりできない、できない)

- ・現代社会で生起する事象を、観光、環境、経営、情報、国際キャリアの分野から幅広く考察することができる
- ・地域社会の課題を発見し、課題解決のための方策を考えることができる
- ・専門分野において外国語を活用することができる
- ・専攻で修得した専門知識や技能・資格を活用して、社会で生起する事象を深く理解することができる
- ・レポートや論文を作成する際に、信頼性のあるデータを正確に解釈することができる
- ・レポートや論文を作成する際に、問題の設定から結論に至る過程を論理的に表現することができる

18. ディプロマポリシー達成評価のためにお聞きます③

C 社会性の向上

(回答の選択：できる、まあできる、どちらともいえない、あまりできない、できない)

- ・自分の意見を、相手にわかりやすいように的確に伝えることができる
- ・相手の意見をしっかりと聞き、適切な質問によって相手の意見を引き出すことができる
- ・自分の意見ややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重することができる
- ・人々と共同で仕事をするとき、チームにおける自分の役割を理解し行動することができる
- ・ストレスを感じるがあっても、それを軽減する考えや行動によって、ストレスを適切に処理することができる

- ・ 指示を待つばかりでなく、自ら進んでやるべきことを見つけ取り組むことができる
- ・ 目的達成のために、他者に働きかけ他者を動かすことができる

ご協力ありがとうございました。